

平成28年度3学期 生活指導部マネジメント									
学校教育目標	校訓「みずから学び、みずから鍛え、みんなと生きる」を体现する生徒の育成								
重点努力目標	(1)アクティブ・ラーニングの視点に基づいた授業を実践することによって、基礎・基本の徹底と思考力・判断力・表現力の向上をバランスよく図り、自ら課題意識を持って主体的に学習に臨み、友と高め合うことのできる生徒を育成する。 (2)失敗を恐れず挑戦する気概、辛抱・我慢して困難に打ち勝つ精神力、怠惰に流されず自己コントロールできる力をすべての教育活動を通して鍛え、強くたくましい心と体を備えた生徒を育成する。 (3)学級や部活動、また地域社会との関わりの中で人に喜んでもらうために自分には何ができるかを考え行動することが、結果的に自己理解や自分を大切にすることにつながることを実感させ、夢や希望、やる気を持った生徒を育成する。								
分掌重点目標	規則正しい生活習慣を定着させる。 ルール・マナー・モラルの向上を図る。								
柱となる活動	3学期への提言	常時活動	1月	2月	3月	到達目標	評価基準 (Check)	成果と課題 Do&Check	来年度への提言 Action
みずから学ぶ活動	朝食摂食事の向上 学校給食週間の取り組みでは、地産地消の啓発を実施する 日々の学習および学校行事への取り組みを通して、仲間と協力することの大切さについて考えさせたり、やり遂げたことによる自信や充実感を感じさせ、自己肯定感を高めていく。	・生徒たちに育てたい資質・能力(岩美町・教科で設定)を意識した日々の実践の積み重ねを行う	「全国学校給食週間」 特別献立の実施(地産地消推進月間) ・カニの日給食(3年)(1/31)	風邪・感染症予防の食生活についての指導	春休み中の食生活についての指導	○健康と食事の関わりを理解する。 ○栄養の偏りなく食事しようとすることができる。 ○地産地消を理解し感謝して食べることができる。	◇生活振り返りアンケート「朝食を必ず食べる」96%以上 ○食生活アンケート(10月実施)岩美町の食材を知っている92%(来年度実施分で評価)		
			給食時の指導、食育掲示の実施 献立表、食育だよりによる啓発活動	澤田美喜さんの生き方に学ぶ(2年生) 教科書無償の取り組みに学ぶ(1年生)		○人権・道徳の学習および学校行事への取り組みを通して、自信や充実感を持ち、自他を認め合うことができる。	<生活振り返りアンケート> ○「自分のことが好き」の項目で、肯定的評価が全体で65%以上 ○「立場や考えの違いをこえて話し合い、協力できた」の項目で、肯定的評価が全体で80%以上		
みずから鍛える活動	朝食摂取・睡眠時間等は、保健室での個別指導を継続して行う。 夜の歯みがき週間については、時間だけではなくみがき方を意識できるようにカードを改善する。 早寝早起き朝ごはんについては、引き続き保健だより等で啓発していく。 まだまだ交通ルール・マナーを守る意識が低いので、2学期実施できなかった下校指導強化週間を行い、呼びかけを行っていく。 ・無言掃除の取り組みで成果が上がったので、継続指導に努め、きちんとできていると実感できる生徒を増やす。 ・ボランティア活動の機会をつくり、意識を高める。	・夜の歯みがき週間の実施(3回/年) (予定)6月、11月、2月 ・生活リズムふり返り週間の実施(3回/年) 登下校指導 ・無言掃除 ・緑化活動(卒業式に向けて)	・冬休み終了後の服装・頭髮指導 ・歯みがきの指導 ・手洗い・うがいの徹底指導 ・教室の換気とインフルエンザ予防 ・「保健便り」による啓発活動 ・町内保小中夜の歯みがき週間の実施 ・積雪時の安全指導 登下校の交通安全啓発活動 放課後の下校指導(自転車通学、送迎の待機場所の見回り等) ・環境緑化活動(卒業式に向けて) 無言掃除・時間いっぱい掃除の徹底	・第3回生活振り返りアンケートの実施と集計分析 ・ネット利用に関して保護者への啓発活動 ・町内保小中夜の歯みがき週間の実施 ・積雪時の安全指導 環境緑化活動(卒業式に向けて)	・生活振り返りアンケート分析後、生徒・保護者への啓発 ・学年末休前指導 ・春休み中の健康安全についての指導 掃除道具の点検	○基本的生活習慣が身につく、朝食を食べない生徒や就寝時刻の遅い生徒をさらに減少させる。 ○進んで交通のマナーやルールを守る生徒を更に増やす。 ○積極的に無言時間いっぱい清掃活動に取り組む生徒が増える。 ○はじめて緑化活動に参加する生徒数の増加	○生活振り返りアンケート 睡眠時間「7時間以上」が55%以上 「朝食をとる」が96%以上 ○生活振り返りアンケート 「交通のルール、マナーを進んで守ることができた。」評価する。きちんと守ることができた。80%以上 ○「公共の施設はマナーよく使用できていますか。」きちんと守ることができた。80%以上 ○生活振り返りアンケート『節水・節電など環境を改善する意識を持って行動している。』の項目で、肯定的評価が全体で84パーセント以上 時間いっぱい肯定的評価90%以上 無言掃除 肯定的評価81%以上		
みんなと生きる活動	引き続き、共通理解のもとに取組を進めていく 継続して支援を行う。来年度の支援がスムーズに行われるよう引継ぎ資料を作成する。 職員研修を行う	スクールカウンセラーとの連携(特に、保護者に対するの助言、方向付け) 定例職員会での生徒の共通理解 特別支援教育に係る関係諸機関との連携	・冬休み明けの生徒の実態把握と早期対応 個別の指導計画に基づく支援の実施	・職員研修会 ・個別の教育支援計画、個別の指導計画の評価 ・来年度個別の教育支援計画・指導計画(案)の作成	・新年度に向けた、個々の生徒毎の実態整理と引き継ぎ準備 ・支援委員会(今年度の成果と課題) ・来年度に向けての引き継ぎ準備・まとめ	○対象生徒の実態・課題を共通理解し、その課題等に応じた対応をチームで行うことができる ○支援が必要な生徒の具体的な支援方法がわかり、「個別の支援計画」に基づいて教職員が連携して個別支援を行うことができる。	◇3学期の新規学校不適應として対策を検討する生徒ゼロ人 ◇校内研修後アンケート、肯定的意見80%以上 ◇対象生徒の学習状況を振り返り、来年度の指導計画を作成し引き継ぎの準備をすることができた。		